

性の多様性の理解促進に関する取組事例紹介

事業所・団体名	松屋製粉株式会社	
所在地	栃木県河内郡上三川町大字多功 2568 番地 5	
設立	昭和 33 年 8 月 1 日	
URL	<a href="https://www.matsuyaseifun.co.jp/company/summary/">https://www.matsuyaseifun.co.jp/company/summary/</a>	
業種	製造業	
事業内容	そば粉、そばミックス粉の製造販売および小麦粉の販売 特殊粉製品（小麦粉、コーン、胚芽類等の特殊加工品）および米粉の受託製造	
従業員等数	78 人（令和 8 年 2 月 1 日 現在）	
取組内容	<p>規程及び方針の策定と研修等による社員一人ひとりの理解促進</p> <p>当社では、持続可能な社会の実現に向け、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、事業活動および社内環境の両面からさまざまな取組を進めています。</p> <p>その一環として、性的指向や性自認（SOGI）を含む多様な性のあり方を尊重し、すべての人の人権が守られる職場づくりに取り組んでいます。具体的には、化粧室や更衣室の利用について、社員からの申し出に基づき、プライバシーおよび安全面に配慮しながら、合理的な範囲で適切に利用できるよう対応しています。また、社内における呼称や性別の取扱いについても、変更を希望する社員の意思と尊厳を尊重し、速やかに社内記録の変更を行う体制を整えています。</p> <p>さらに、全社員が LGBTQ+に関する理解を深められるよう、オンライン研修の実施や性の多様性に関するポスター掲示、アライフラッグの活用などを通じて、社内の意識醸成に努めています。</p> <p>今後も、社員一人ひとりが自分らしさを大切にしながら安心して働ける企業を目指し、ダイバーシティの推進に継続して取り組んでまいります。</p>	



記載日：令和 7 年 3 月 2 日